

2020年6月期 **3Q**

決算説明会

株式会社 ビーネックスグループ

2020年5月15日

FY2020 3Q

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

IV 来期と中期経営 計画について

グループ理念

スローガン

誰もが時代の「次」になる。

ビジョン

ひとりひとりが自分らしいキャリアを歩み、
変革の原動力となる社会に。

ミッション

「次」に挑む、機会を創り続ける。

中期経営計画

- 技術系領域の更なる伸長
とくにIT技術分野
- FY22 EBITDA 100億円の達成
CAGR:約15%成長
- 持続的な株主価値の向上
EPS成長、自己株式取得も視野

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

IV 来期と中期経営計画について

■ 第3四半期業績は前年同期比で増収減益

- 売上高 626億円 (YoY+1.9%)
営業利益 42億円 (YoY▲5.6%) EBITDA 51億円 (YoY▲2.6%)
- 技術系領域におけるIT分野の拡張
 - ✓ 2019年11月にグループ入りしたアクシス・クリエイト等3Qより連結寄与
 - ✓ 加えてIT領域を拡販し、情報通信向けの売上高が大幅に増加 (YoY+67.6%)

■ 通期業績予想を修正 当期で業績底打ちを展望

- 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、英国事業ののれん減損を含めた修正
- 売上高 822億円 (当初870億円)
営業利益 45億円 (当初65億円) EBITDA 56億円 (当初75億円)
- 配当予想は予定通りで、期末配当25円、年間配当40円

損益計算書

売上高

626億円

YoY +1.9%

EBITDA

51.5億円

YoY ▲2.6%

- 技術系が業績を牽引するも、他セグメントは前年実績を下回る
- 3Qよりアクシス・クリエイトが連結寄与
(売上高5.1億円、営業利益0.6億円)
- 新型コロナウイルスの影響は3Qは限定的

単位:百万円

	FY19		FY20			
	3Q	構成比	3Q	構成比	増減	YoY
売上高	61,447	100.0%	62,605	100.0%	+1,158	+1.9%
営業利益	4,429	7.2%	4,183	6.7%	▲246	▲5.6%
EBITDA (※1)	5,285	8.6%	5,149	8.2%	▲136	▲2.6%
四半期純利益	2,900	4.7%	1,057	1.7%	▲1,842	▲63.5%
EPS (円)	68.46	-	24.86	-	▲43.60	▲63.7%

※1 EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

特別損失について(1)

第3四半期において、特別損失に1,465百万円を計上しております。
うち減損損失1,162百万円と投資有価証券評価損301百万円の内容は以下のとおりです。

① MTrec社・Gap社の減損損失 1,162百万円

■ 英国でのM&Aについて

当社は、国内の技術者派遣の拡大を注力しつつ、将来の国内市場の飽和やシェアアップ後の企業成長の道筋とするため、グローバル市場でのM&A等を並行して進める中長期の持続成長を目指しております。

英国は人材派遣事業の歴史が古く、社会に浸透しているため、海外進出のターゲットの一つとして、2016年 MTrec社、2017年 Gap社、2018年 Quattro社の買収を行ってまいりました。

■ 減損損失の計上について

ブレグジットの進捗状況に加え、新型コロナウイルスに伴うロックダウンなど社会的影響を踏まえ、英国市場の先行きを慎重に捉え、将来収益性の見積もりを検討していくことにいたしました。

第3四半期の決算においては、減損額の確定にはいたっていませんが、想定される影響額を特別損失で計上しております。

今後、当該内容が確定しだい、別途お知らせをすることにいたします。

特別損失について(2)

- 第3四半期におけるのれんの全容と当該減損損失の計上は以下のとおり
- 減損後ののれんは50億円となり、円換算で約1.4億円の年間償却が減少します

海外	本件対象の2社		当初ののれん	当期3Q減損前 のれん残高	減損概算	当期3Q発表 のれん残高
	取得	円換算 (百万円)	円換算 (百万円)	円換算 (百万円)		円換算 (百万円)
MTrec	2016/8取得	1,381	10年償却：残6年5カ月	765	-265	500
Gap	2017/12取得	2,501	10年償却：残7年8カ月	1,846	-898	948
Quattro	2018/8Gapの子会社化	579	10年償却：残8年5カ月	472		472
国内						
ビーネックスソリューションズ (複数・合併)		3,104	10年償却：残約5年	1,702		1,702
アクシス・クワイエット他2社		1,355	10年償却：残9年9カ月	1,322		1,322
他				7		7
合計				6,114	減損-1,162 +為替調整 -48	4,903
				年償却約8.0億円		年償却約6.5億円

MTrecの状況
 グループ入り後、利益率は順調に向上しているものの、ブレグジットで欧州サプライチェーンにかかるメーカーからの需要減で売上高が減少し回復傾向のところ、新型コロナウイルスの影響で、今後の顧客開拓等に見直しを要することから、将来収益性の検討を実施
 なお、年度単位での赤字は想定していない

Gapの状況
 顧客企業には食品や物流など内需向けの業界が多くブレグジットの影響は軽微であったものの利益率は想定を若干下回る状況であったところに、新型コロナウイルスの影響を受け、以後の業容回復・拡大と利益率向上の両立は難度があることから、将来収益性の検討を実施
 なお、年度単位での赤字は想定していない

② 投資有価証券の株式評価損 3億円

■ 当社の投資有価証券について

ベンチャー企業や最先端テクノロジーへの投資・支援を目的として投資を行っております。現時点で人材サービス業に直接の接点がなくとも、エンジニアの活躍フィールドを拡張・創出すること、社会の発展に寄与するものと考えております。

■ 株式評価損について

投資目的で保有する点米網酪科技股份有限公司（中国におけるHRテックの尖鋭分野を有する）の株式を価値評価を行った結果、取得価額(4億円)との差額が大きくなり評価損3億円を計上することになりました。

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

IV 来期と中期経営計画について

セグメント別売上高

売上高

技術系

329億円

YoY +9.9%

海外

ポンドベース

£ 165.0m

YoY +0.4%

【重要】3Qより持株会社体制に移行したことで内部取引額が増加するため、セグメント別売上高は「外部顧客への売上高」をFY19、FY20とも適用しております。

- 技術系はIT分野の拡張により成長継続。IT分野の需要は今後も強い見通し
- 海外は現地通貨ベースでは増収を維持

単位:百万円

	FY19		FY20			
	3Q	構成比	3Q	構成比	増減	YoY
技術系領域	29,901	48.7%	32,855	52.5%	+2,954	+9.9%
製造系領域	7,455	12.1%	7,016	11.2%	▲472	▲6.3%
海外領域	24,088	39.2%	22,732	36.3%	▲1,356	▲5.6%
UK事業(百万£)	164.4	-	165.0	-	+0.6	+0.4%
その他	2	0.0%	1	0.0%	▲1	▲53.3%
合計	61,447	100.0%	62,605	100.0%	+1,158	+1.9%

※ 期中平均為替レート：(FY19 3Q) 1 GBP=146.3円、(FY20 3Q) 1 GBP= 137.8円

EBITDA

技術系

43.4億円

YoY +2.0%

EBITDA合計

51.5億円

YoY ▲2.6%

- 技術系は 2Qまでの稼働率低下と残業時間の減少の影響により前年同期比で減益であったが、3Qは社員増と稼働率の回復で前年同期比で増収に転ずる
- 海外は英国の内需向け顧客企業からの派遣需要が堅調前期の一時費用の剥落もあり、利益率が向上

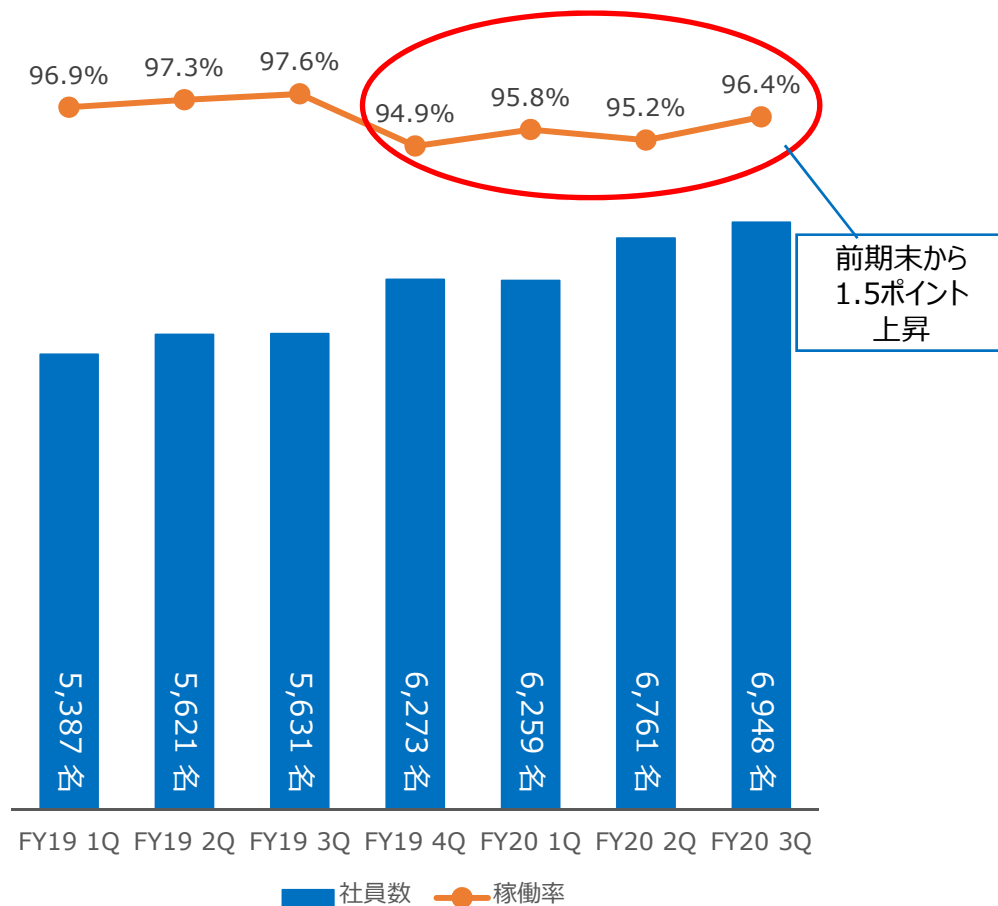
単位:百万円

	FY19		FY20			
	3Q	構成比	3Q	構成比	増減	YoY
技術系領域	4,251	80.4%	4,335	84.2%	+84	+2.0%
利益率	14.2%		13.2%		▲1.0pt	
製造系領域	371	7.0%	269	5.2%	▲102	▲27.4%
利益率	4.9%		3.8%		▲1.1pt	
海外領域	731	13.8%	717	13.9%	▲14	▲2.0%
利益率	3.0%		3.2%		▲0.2pt	
UK事業(百万£)	4.1		4.9		+0.8	+20.7%
その他	▲121	▲2.3%	▲142	▲2.8%	▲21	-
調整	53	1.0%	▲30	▲0.6%	▲83	-
合計	5,285	100.0%	5,149	100.0%	▲136	▲2.6%
利益率	8.6%		8.2%		▲0.4pt	

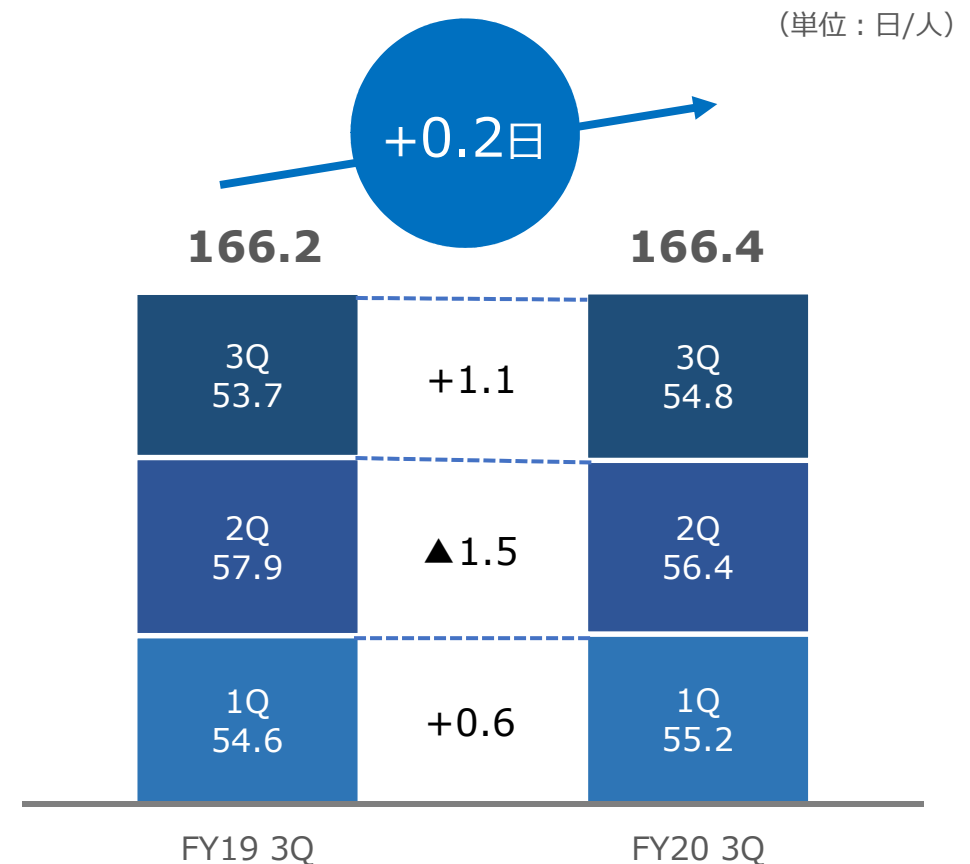
※ 期中平均為替レート：(FY19 3Q) 1 GBP=146.3円、(FY20 3Q) 1 GBP= 137.8円

- 需要が高いIT分野への技術者の配属で社員数は引き続き伸長し、前期末から675名の増加
- 稼働率は期初から改善が進むものの、前期末より平均的に1.5ポイントほど低い推移

四半期末毎の社員数／稼働率



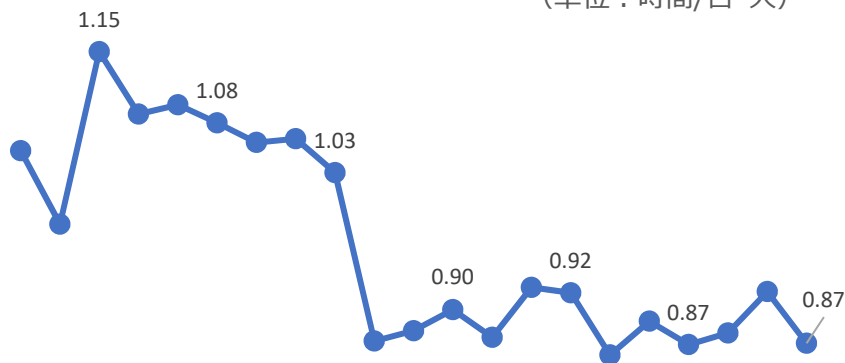
稼働日数 (※)



- 残業時間は2019/4以降、前年度比で低下後、大きな変動は生じていない
- 契約単価は同一契約更新で単価低下は発生しないが、新卒・未経験といった相対的に単価が低い案件の比率が上がり平均値を押し下げる

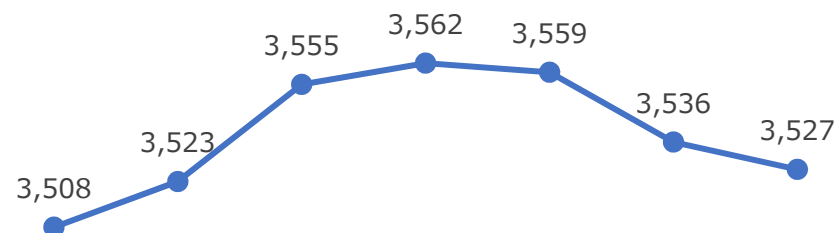
残業時間 (※)

(単位：時間/日・人)



派遣契約単価

(単位：円/時間・人)



7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
FY19						FY20					

FY19 1Q	FY19 2Q	FY19 3Q	FY19 4Q	FY20 1Q	FY20 2Q	FY20 3Q
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

※ BNT1人あたり平均の残業時間

※ BNT1人あたり平均の契約単価

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

IV 来期と中期経営計画について

業績予想の修正について(1)

- 新型コロナウイルスの影響は第4四半期に顕在化
新規採用配属の大幅減速、顧客企業先の休業や時短、稼働率低下で、短期的に利益が低減
- 雇用維持、生活支援の観点から、国内の全社員10,000名超に対して新型コロナウイルス対応支援の特別手当を一律30,000円支給する考え
このため第4四半期には労務費が通常より増加し、利益減となるも必要な手立てと判断
- 現時点で想定される影響は全て織り込み、来期業績は以後の積み上げに応じた利益回復を狙う

単位:百万円

	FY20				FY19		
	修正計画	当初計画	増減	計画比	実績	増減	前年比
売上高	82,200	87,000	▲4,800	▲5.5%	81,596	+604	+0.7%
営業利益	4,500	6,500	▲2,000	▲30.8%	5,719	▲1,219	▲21.3%
EBITDA	5,600	7,533	▲1,933	▲25.7%	6,843	▲1,243	▲18.2%
当期純利益	1,200	3,840	▲2,640	▲68.8%	3,706	▲2,506	▲67.6%
EPS	28.2	90.6	▲62.4	▲68.9%	68.5	▲40.3	▲58.8%

業績予想の修正 (セグメント)

- 新型コロナウイルスの影響を可能な限り見積もり
- 既存契約は一部での休業要請やテレワーク含む残業減があるものの、解約・終了はほとんどない
- 新規稼働に関する制約が大きく、短期的には新規採用・稼働率が進まないのが最大の影響

単位:百万円

		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 予想	計	合計
売上高	技術	10,703	10,850	11,304	11,400前後	44,260前後	82,200
	製造	2,389	2,391	2,237	2,100前後	9,120前後	
	海外	7,226	7,277	8,190	6,100前後	28,800前後	
営業利益	技術	1,216	1,346	1,335	400前後	4,300前後	4,500
	製造	65	118	72	若干の赤字	200	
	海外	27	103	127	若干の黒字	300	
	その他	▲ 34	▲ 101	▲ 78	同水準	▲ 300	
EBITDA	技術	1,342	1,471	1,521	466	4,800	5,600
	製造	69	122	77	▲ 28	240	
	海外	198	283	272	47	800	
	その他	▲ 35	▲ 47	▲ 89	▲ 69	▲ 240	

新型コロナウイルスの感染拡大予防に対応する中で、社員は稼働時間減少などに起因する手取り給与の減少や、生活維持あるいは防衛のための想定外の支出などが伴っております。

当社グループはこの状況に対して、国内社員約10,500名(2020/3時点の数)に、特別手当30,000円を支給する方針です。

雇用維持、社員および家族の生活の維持に、微小ながら支えとなり、今後の活躍につながるよう手立てをするものです。

2020年6月支給予定

正社員・契約社員（外勤の技術社員・技能社員・内勤社員・障がい者雇用含む）

対象会社

(株)ビーネックステクノロジーズ
(株)ビーネックスソリューションズ
(株)アクシス・クリエイト
(株)アクシスヒューマンデベロップメント
(株)ビーネックスパートナーズ
(株)ビーネックスウィズ

（株主の皆さまにおかれましてはご理解いただけますと幸いです）

業績予想の修正について(4)

■ 技術系領域 第4四半期 K P I 等動向

- ・新卒採用は590名入社 期末社員数は約7,400名～を想定
- ・稼働率は期末で前期末より1ポイントほど下がる94%前後を想定
新規契約開始(新卒稼働含む)の後ろ倒しが影響
- ・想定稼働日数は 計画 (55.6日) に対して1.5日程度のマイナス影響を想定
- ・派遣単価は4月改定を経て既存取引はチャージアップの傾向
- ・特別手当で2.8億円ほどの一時費用を見込む

■ 製造系領域 第4四半期 K P I 等動向

- ・リモートワークがない職務のため、売上高は減少するも、休業補償で相応にコスト吸収
- ・社員の急激な退職は発生しておらず、期末社員数は約2,200名を想定
- ・想定稼働日数は 計画 (約55日) に対して3日前後のマイナス影響を想定
ただし緊急事態宣言解除後の動き出し次第
- ・派遣単価は横ばいを想定
- ・特別手当で0.7億円ほどの一時費用を見込む(特別手当除けば利益計上可能)

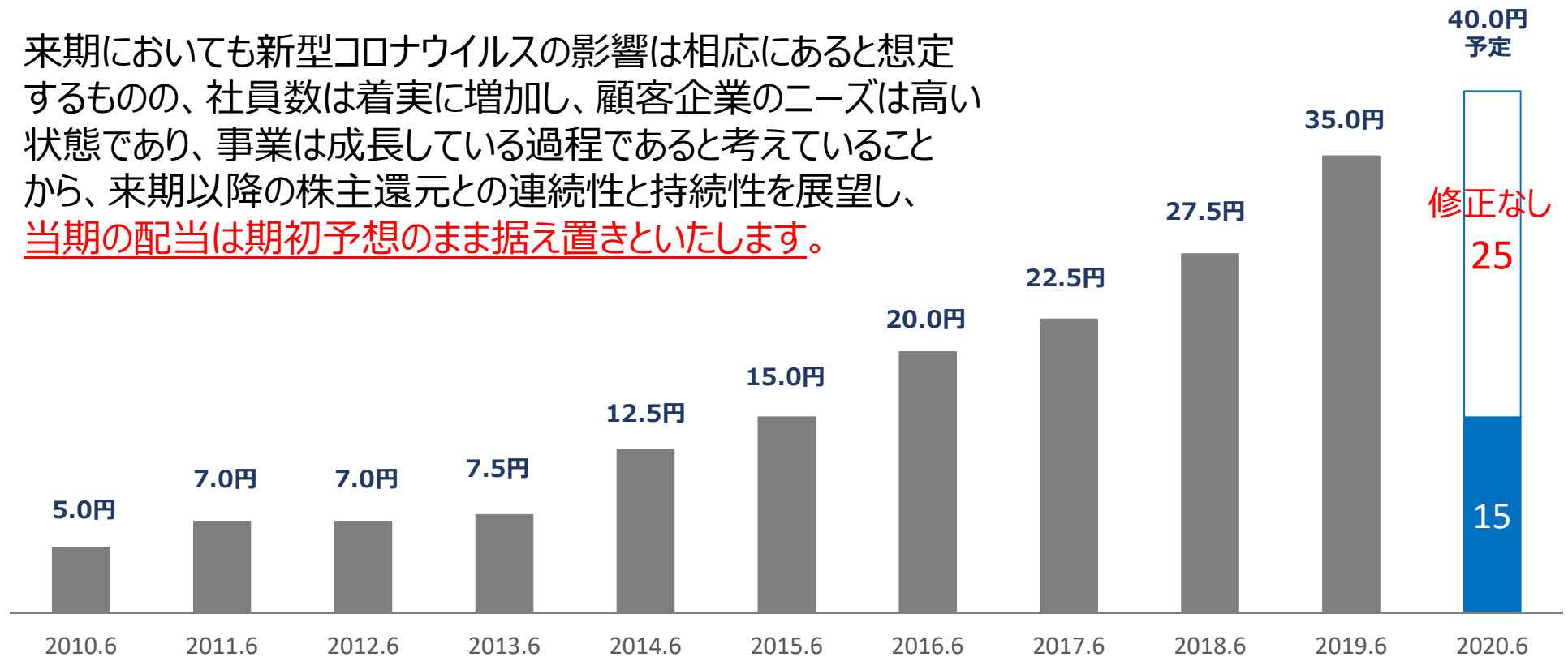
■ 海外領域 第4四半期について

- ・英国は3か月ずれ(2020/1~3)で連結取り込みするため、数値は織り込み済み
- ・クリスマス明けの季節性で人材ニーズが低下する3か月に重なってブレグジットが決定し、労働流動性が低下したところに、3月から新型コロナウイルスの影響を受ける

■ 期末配当 25円 (YoY+5円) 、年間配当 40円 (YoY+5円) を予定

当社の配当における従来からの方針は、配当性向を設定しておらず
安定的な配当を指向しております。

来期においても新型コロナウイルスの影響は相応にあると想定するものの、社員数は着実に増加し、顧客企業のニーズは高い状態であり、事業は成長している過程であると考えていることから、来期以降の株主還元との連続性と持続性を展望し、当期の配当は期初予想のまま据え置きといたします。



※ 2010年7月1日付にて普通株式1株につき5株の割合で株式分割、2013年7月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2016年4月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割、2019年7月1日付にて普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、記載している過去の配当金に関しては遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

IV 来期と中期経営計画について

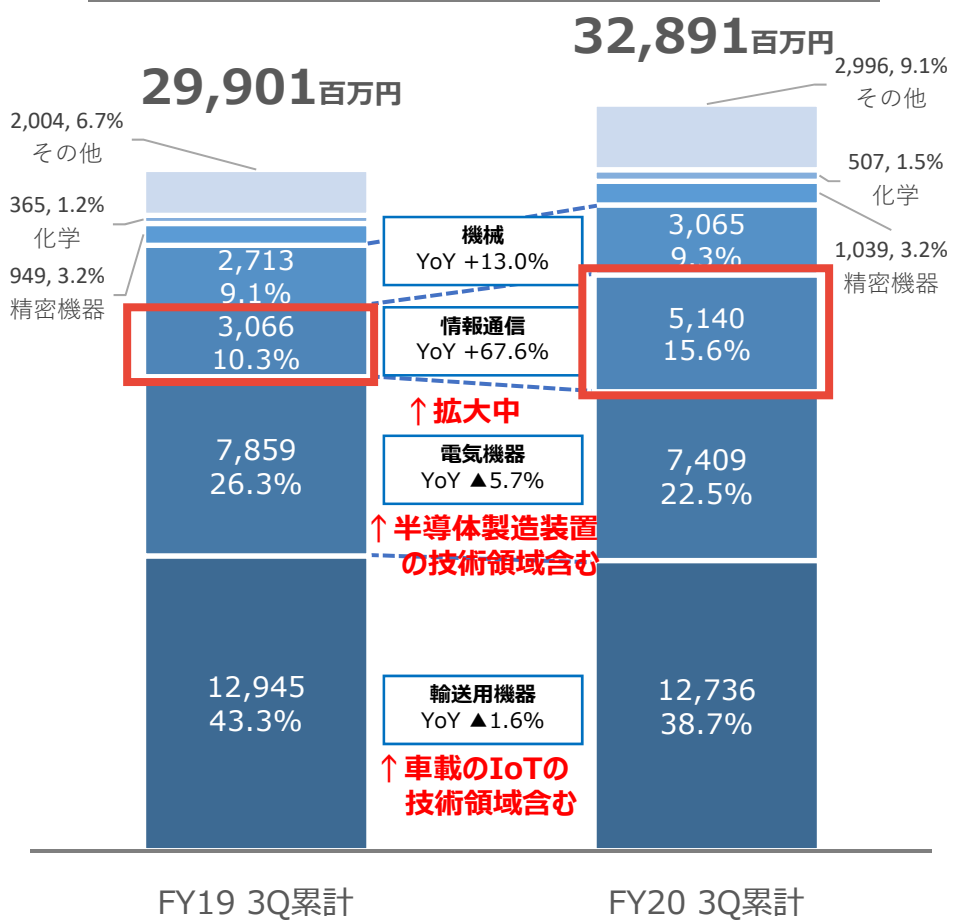
来期の事業や業績に関する考え方(1)

■ 来期で剥落する一時的費用・償却

特別手当 約3.5億円
 M&A一時費用 約0.8億円
 のれんの償却 約1.4億円

■ 当社が注力しているITソフトウェアやIoTにかかるエンジニアのニーズは、新型コロナウイルスへの継続的な社会対応が求められる「ニューノーマル」の環境下において、一層高まるものと考えております。
 ネットワーク、セキュリティ、IoTなどに加え、半導体の需要も捉えることができます。

当第3四半期の技術系領域
業種別売上高

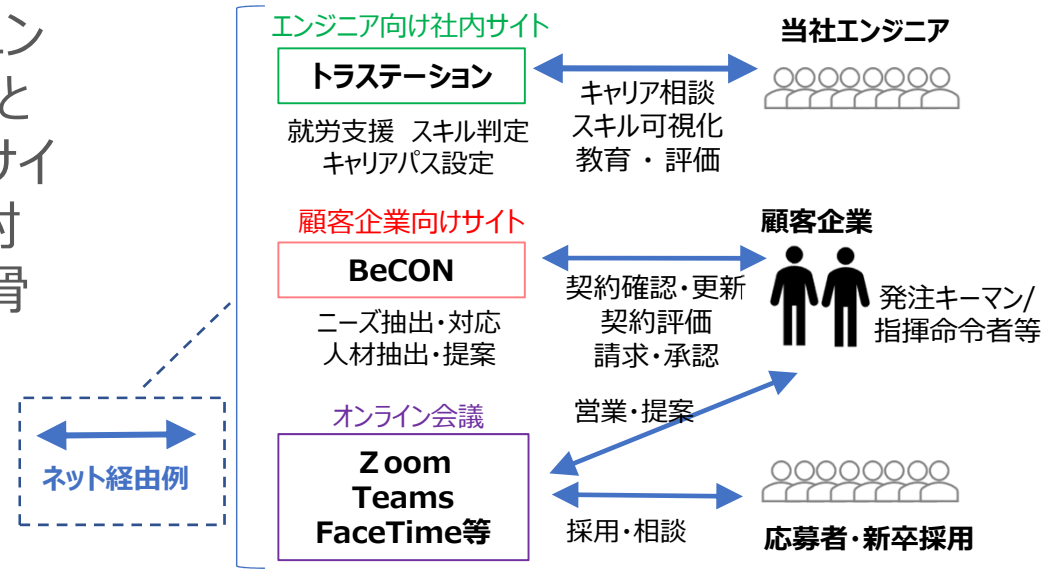
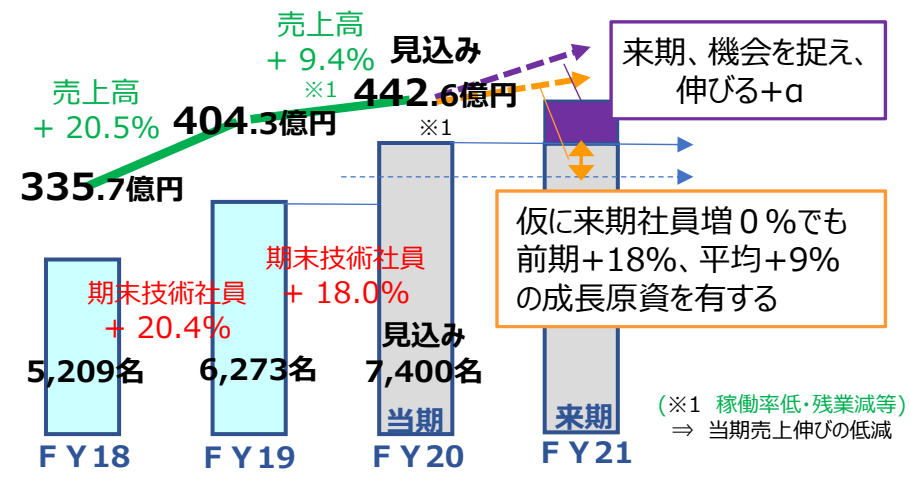


来期の事業や業績に関する考え方(2)

■ 当期末の技術者数は前期から+18%の増員を見込む。合わせて顧客開拓を進め新たな技術ニーズも把握しているので、今後の機会を適切に捉えることで、業容の拡大の好機に迅速に対応できると考えております。

■ 採用・面接を完全オンラインで進めたり、エンジニア向け社内サイト、顧客企業キーマンとのコミュニケーションを顧客企業向け専用サイトでやり取りするなど、新型コロナウイルス対応を契機に、新たなビジネススタイルが円滑に動き始めています。

技術社員数(棒グラフ)と技術系領域売上高(折れ線グラフ)相関



※ 各ツールは順次、機能追加/範囲を拡充

- 中期経営計画は当期をスタートとした3カ年（2019/7～2022/6）で設定
初年度経過中であるが、新型コロナウイルスのような事業環境の大きな変化は想定外
- 当期の通期決算発表のタイミングである8月まで、事業を取り巻く環境を注視し、
中期経営計画の変更を行う可能性があります

補足資料

■ 財務状態は良好 今後のM & Aに加え、有事の機動的な対応・キャッシュフローを確保済み

	FY20 3Q
流動資産	21,666
うち現金・預金	7,848
うち受手・売掛	11,930
固定資産	9,189
うちのれん	4,903
総資産	30,855
負債	15,183
うち有利子負債	3,548
流動負債	13,672
固定負債	1,511
純資産	15,672
うち自己資本	15,195
利益剰余金	7,400
負債純資産計	30,855

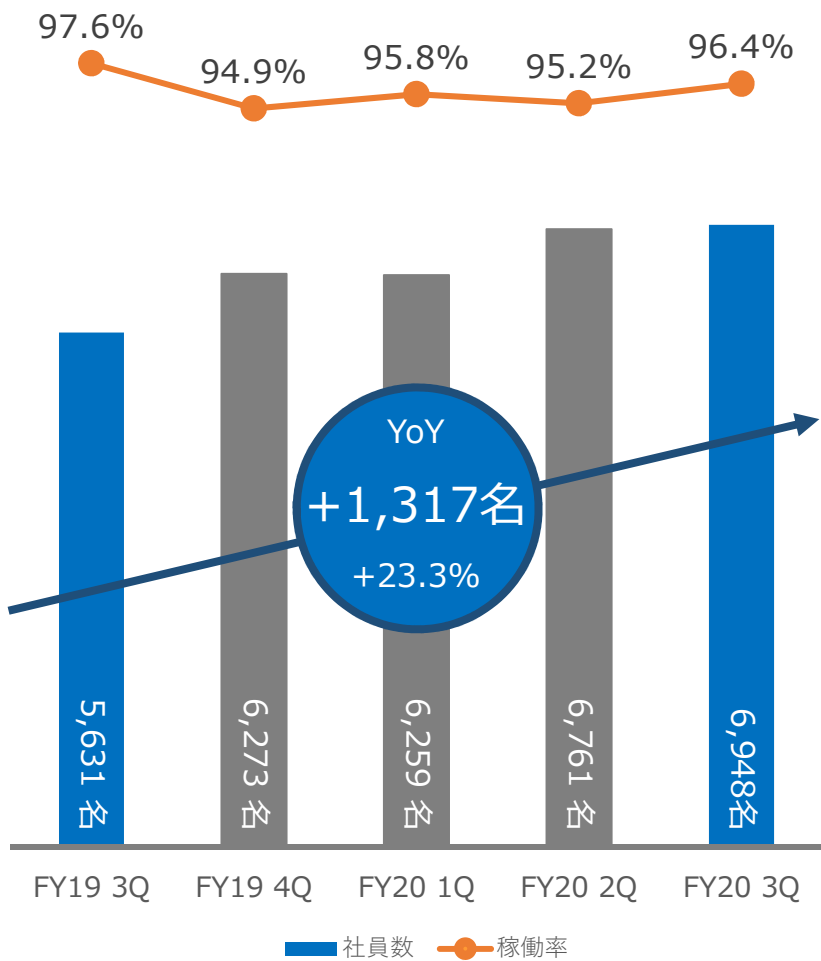
流動性比率：158%
 なお有利子負債の大半は売掛債権に紐づくファクタリング(海外事業)でリスクヘッジ

自己資本比率：49.2%
 財務健全性から、借入余力あり

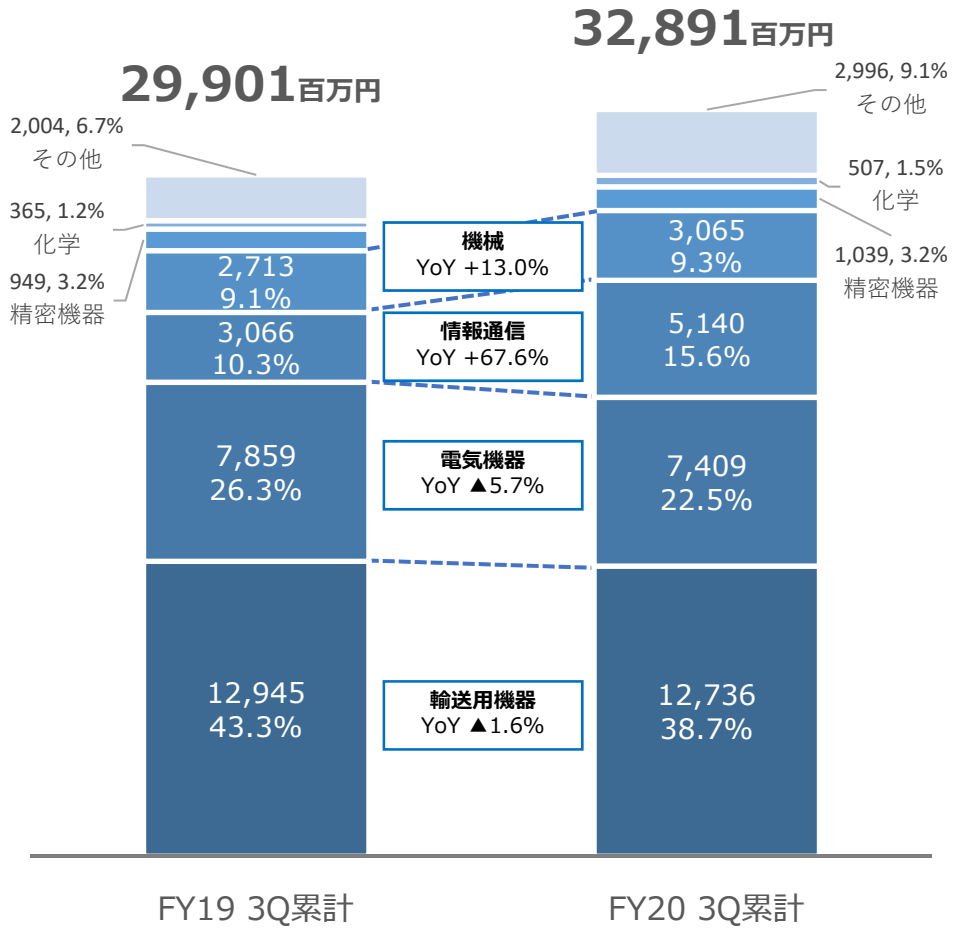
借入枠：70億円
 ・当座貸越枠：40億円
 ・コミットメントライン：30億円
 資金需要に対し短期間で機動的に活用

株主還元
 利益剰余金が74億円 安定配当が可能

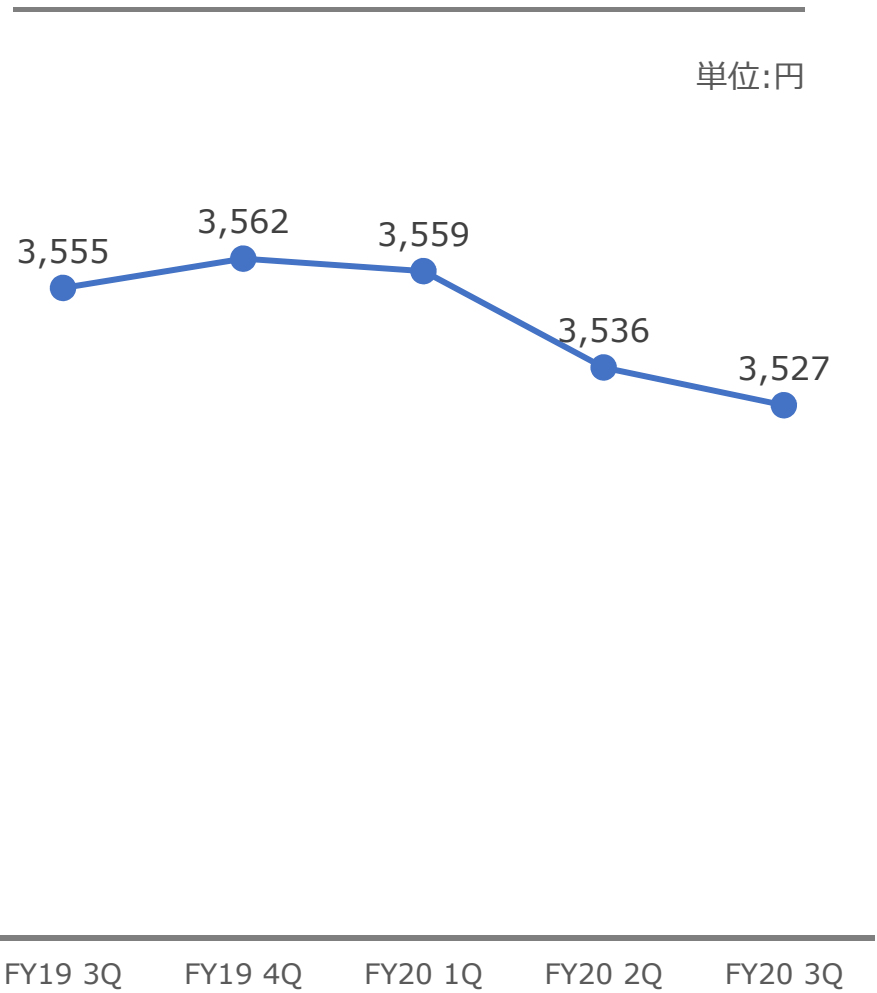
社員数／稼働率



業種別売上高

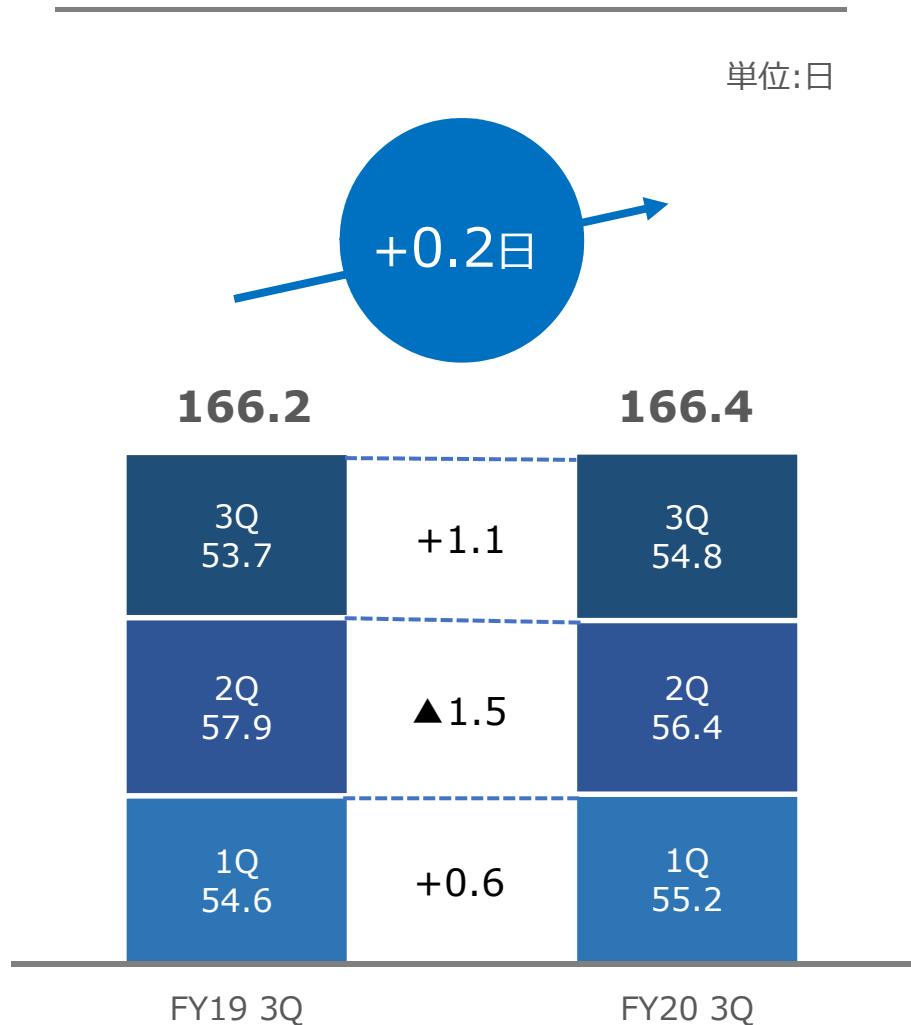


契約単価 (※)

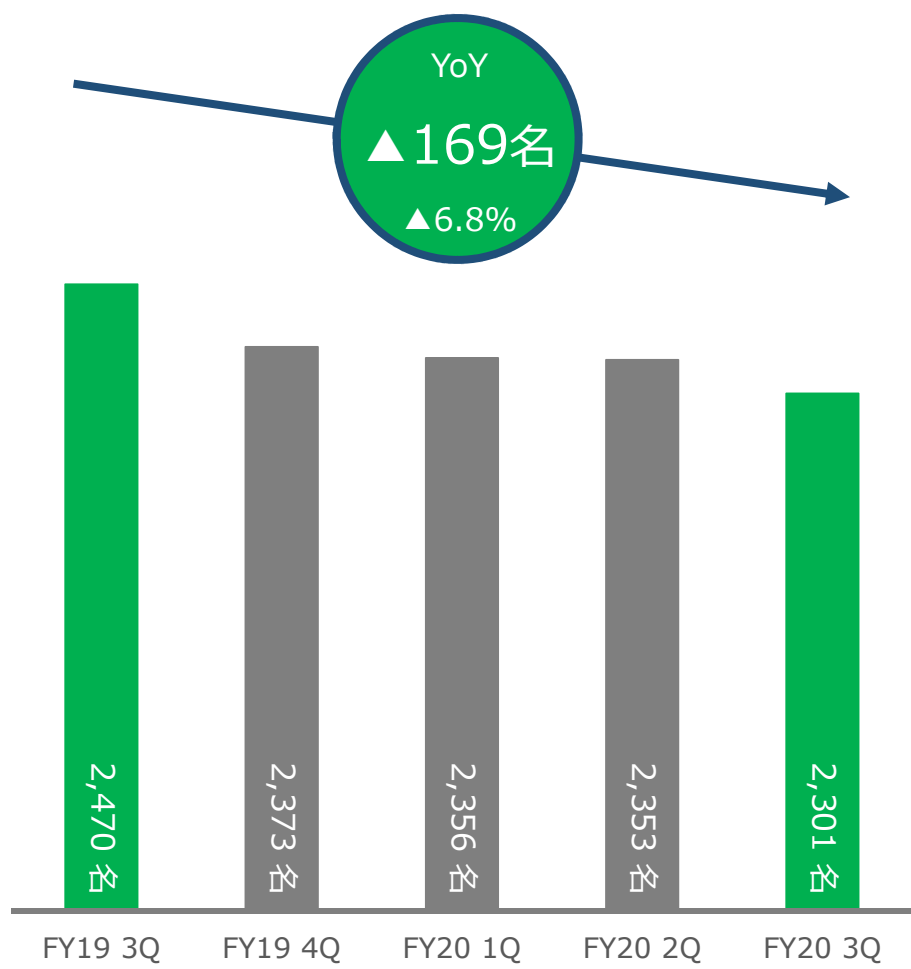


※ 請負売上は含みません

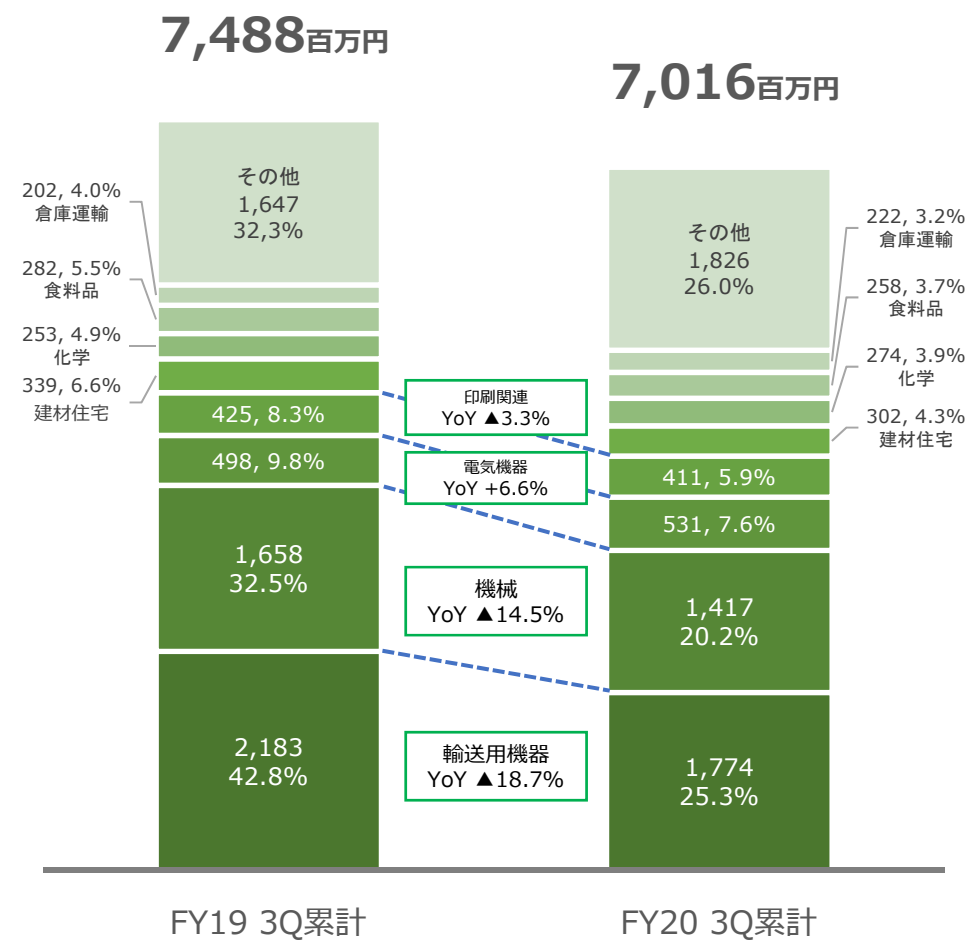
稼働日数



社員数

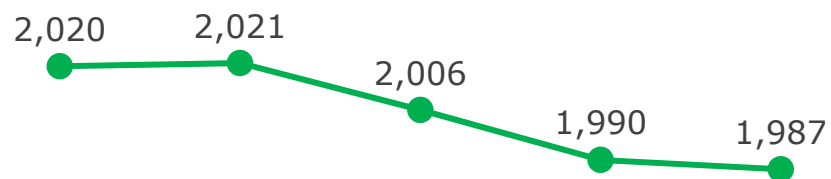


業種別売上高



契約単価 (※)

単位:円

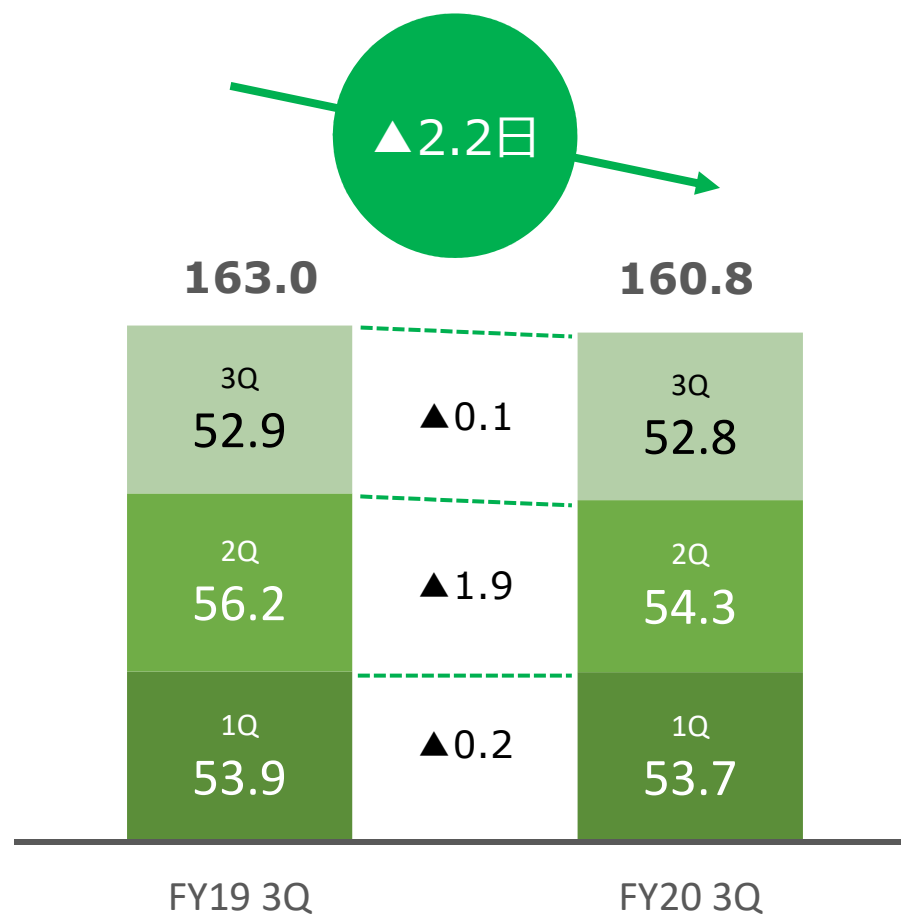


FY19 3Q FY19 4Q FY20 1Q FY20 2Q FY20 3Q

※ 請負売上は含みません

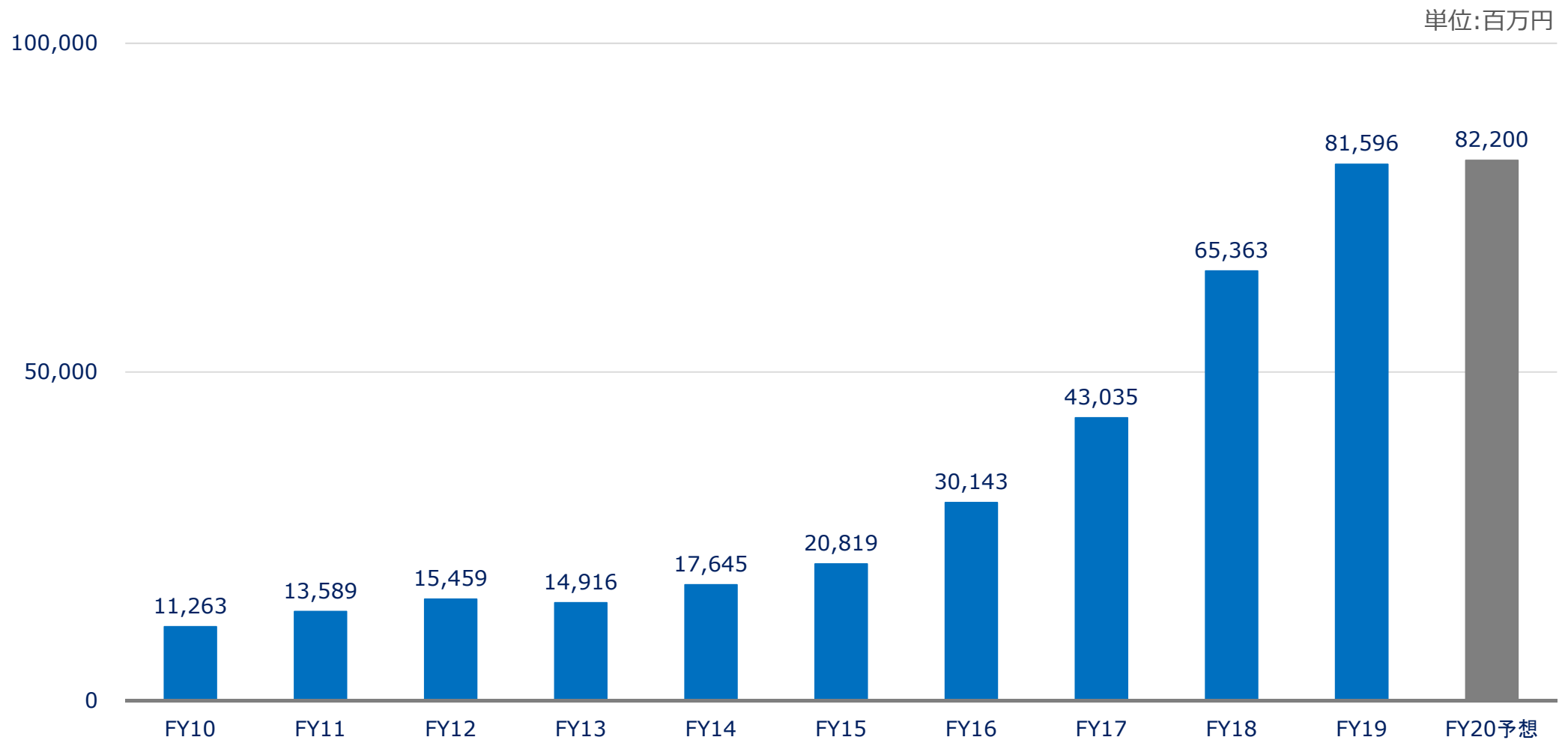
稼働日数 前年同期比

単位:日



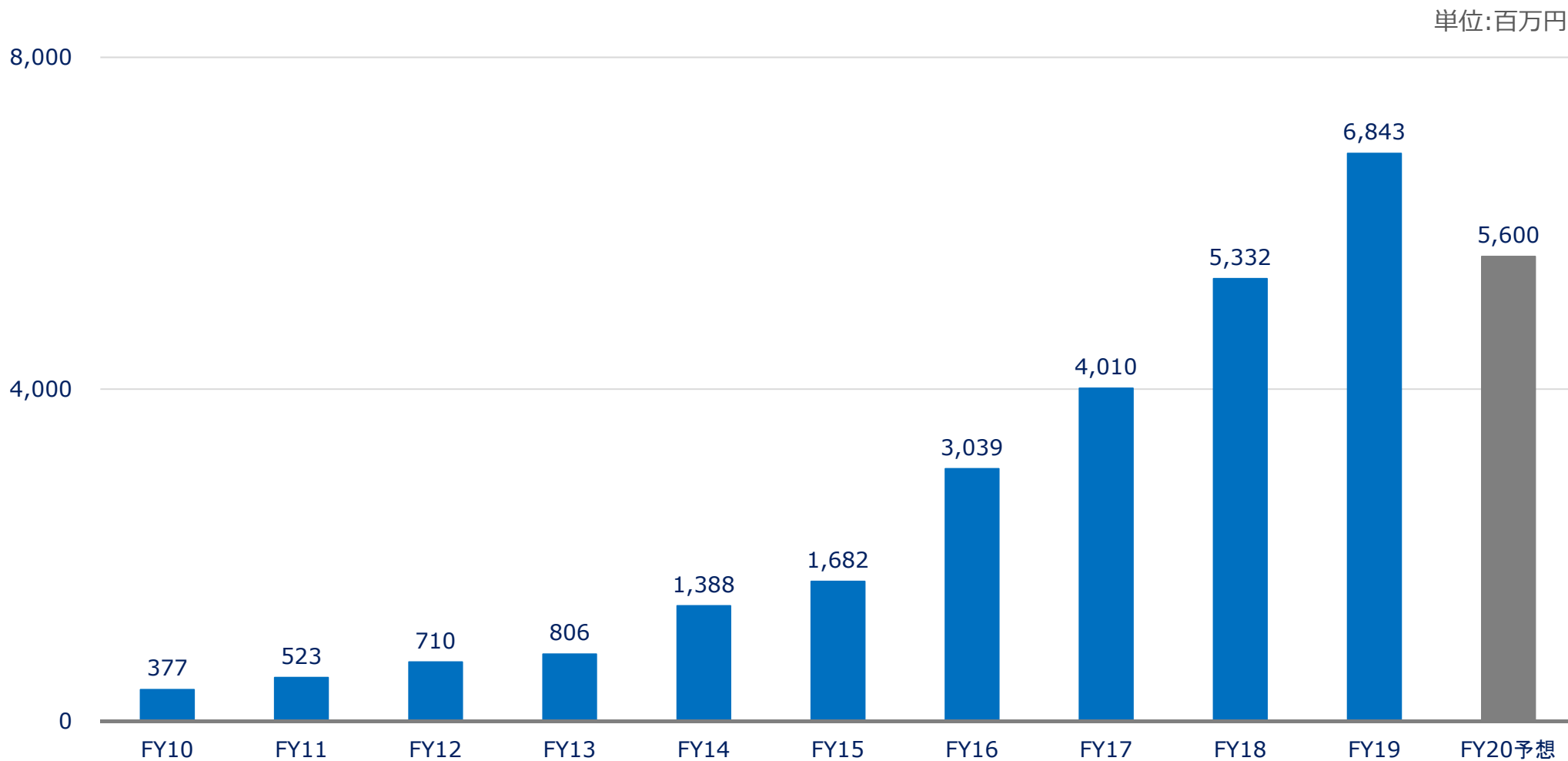
■ FY13からFY19まで6期連続増収

■ 業績予想修正後も7期連続増収予定



■ FY09からFY19まで10期連続増益

■ 事業環境を考慮し、当初計画75億円から56億円に修正



免責事項

本資料は、当社の事業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先) 株式会社ビーネックスグループ IR室
TEL : 03-5777-7727 E-mail : ir-bnt@benext.jp